

## 眼 科

### 《概要》

田尻健介医師、大槻紘平医師に加え、4月より鶴原泰子医師の入職により3名で診療を行っている。

診療疾患は白内障、緑内障、糖尿病網膜症などを中心に、眼科一般を診療しており、大阪府立泉州救命救急センターへの診察も行っている。

手術は例年通り、白内障手術が多く、大多数の症例では小切開創から眼内操作を行ない、インジェクターを用いて眼内レンズを挿入する術式を採用している。手術時間が短縮し、術後乱視が軽減することで術後視力の向上に効果を発揮している。白内障手術患者はクリニカルパスにしたがって、入院期間は片眼手術の場合は4～5日間、両眼手術の場合は8日間ではほぼ全例予定通りの退院となっている。比較的若年で術後の通院に支障がない患者については、全身状態も考慮したうえで日帰りで手術も行っている。

また糖尿病網膜症の症例は従来通りに多く、蛍光眼底造影検査や網膜光凝固術を多数施行している。糖尿病網膜症の進行例や、網膜剥離などは硝子体手術で対応している。

泉州広域母子医療センターの始動に伴い、NICUでは未熟児網膜症症例が増加している。未熟児網膜症の進行例には網膜光凝固治療で対応している。

### 《業績》

#### (1) 学会研究会報告 (2010.4～2011.3)

番号	整 理	演 題	発 表 者	学 会 ・ 研 究 会 名	年 月 日
1		蛍光眼底造影検査で生じたアナフィラキシーショックの1例	田尻健介	第29回阪南眼科勉強会	2010.7.3